

(協定校サマースクール／語学セミナー)

1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()														
留学に向けて 取り組んだ語学	☐ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☒ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 (語)																
勉強方法	中国語学習アプリを利用、中国語のドラマを見て勉強しました。																
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	<table border="0"> <tr> <td>☐ プログラム費用</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>☐ 宿泊費用(寮／ホームステイ等)</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>☐ ビザ申請</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>☐ 渡航費(☐片道 ☒往復)</td> <td>50000 円</td> </tr> <tr> <td>☐ 海外旅行保険料</td> <td>5360 円</td> </tr> <tr> <td>☐ 食費</td> <td>15000 円</td> </tr> <tr> <td>☐ その他(Wi-Fi レンタル料金)</td> <td>3000 円</td> </tr> </table>			☐ プログラム費用	0 円	☐ 宿泊費用(寮／ホームステイ等)	0 円	☐ ビザ申請	0 円	☐ 渡航費(☐ 片道 ☒ 往復)	50000 円	☐ 海外旅行保険料	5360 円	☐ 食費	15000 円	☐ その他(Wi-Fi レンタル料金)	3000 円
☐ プログラム費用	0 円																
☐ 宿泊費用(寮／ホームステイ等)	0 円																
☐ ビザ申請	0 円																
☐ 渡航費(☐ 片道 ☒ 往復)	50000 円																
☐ 海外旅行保険料	5360 円																
☐ 食費	15000 円																
☐ その他(Wi-Fi レンタル料金)	3000 円																

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	チャイナエアライン	手配	エクスぺディア ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本空港から高雄空港	到着 時刻	19:40 【※移動時間(約2.5時間)】
大学(寮)への 移動手段	☒ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関(☐ バス ☐ 電車) ☐ その他()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	駅構内では飲食禁止です。		
宿泊先	☒ 寮 ☐ ホームステイ その他()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☐ 一人部屋 ☐ 二人部屋 ☒ その他(三人部屋)	ルーム メイト	☒ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	Wi-Fi は寮の一階と授業のある教室のみ使うことができました。それだけでは不安な方は、Wi-Fi レンタルやSIMカード購入をお勧めします。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	午前と午後に授業が分かれており、午前中に中国語の授業があれば、午後は文化体験という構成でした。授業は中国語既修者と中国語未履修者との2クラス編成されており、既修者クラスは実践的な会話を勉強し、未履修者クラスは基本的な会話と単語の発音練習を勉強しました。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	日本語を学んでいるチューターが一人ひとりについてくれました。日本語が堪能なチューターさんもいれば、難しい会話まではできないチューターさんもいました。日本人だけで行動するというより、台湾の学生が常に面倒を見てくれるという形でした。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学IDの設定等）	学生寮のカードと学校のWi-FiのIDが書かれたネームカードが配られました。特に書類等の提出はありませんでした。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	夕方の自由な時間は、チューターさんや文化活動等で仲良くなった現地の学生に色々なところに連れて行ってもらいました。夕食は毎回、台湾の料理や、大学のある台南地域の料理などが食べられるお店に連れて行ってもらいました。大学内に、日本文化に関心の高い学生も多く、現地学生とはとても仲良くさせていただきました。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

語学に関すること

毎日の授業で学んだことをすぐ現地学生との会話で使うことができるので、授業にも身が入りました。独学で取り組んでいた頃とは違い、もっと話せるようになりたいという意識に変わりました。

ものの考え方や取り組み方

完璧な文法ではなくても、まずは話してみることが一番大切だと実感したので、恐れずに自信をもって話すようにしようと考えようになりました。

コミュニケーション能力

コミュニケーション能力は向上します。日本人だけでかたまって行動する人もいたが、それでは無意味です。積極的に現地学生と交流することで、友達が増えました。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

留学先大学

私立大学で建物等はとてもきれいで大きいです。熊本大学に留学経験のある学生や、留学予定の学生もいました。現地学生との交流が深まりやすい大学です。

プログラムに関すること

このプログラムは中国語を習得するというよりも、文化体験や現地学生との交流が主であると思います。本当に日常会話で使える中国語を教えてもらうことができます。

生活全般に関すること

生活費はあまり必要ないです。朝食と昼食は学校が用意してくださるので、自己負担は夕食だけです。一回の夕食で高額なもので 200 元ほど安くて 35 元ほどでした。タクシーを使うこともありましたが、一回あたり 200 元以下で気軽に使えました。

留学を通しての感想

中国語を全くできない状態で参加したこのプログラムでしたが、帰るころには聞き取れる単語も増え、もっと喋れるようになりたいと思うようになりました。このプログラムでの一番の魅力は現地学生との交流だと思います。一般的なプログラムでは大学の職員の方が運営等をされると思いますが、南台科技大学のプログラムは、現地学生が主な運営を担い、進行もほぼ学生が行っていました。それにより、プログラム参加者と現地学生が知り合う機会や喋れる機会が増え、仲良くなれたと考えます。天候の悪化により、最終日の成果発表はなくなりましたが、成果発表にむけて私のチームは台湾の歌謡曲に合わせて踊りを踊る予定でした。チューターの学生の研究室で、動画を見ながらみんなで踊りの練習をしたのは、忘れられない思い出です。外国に飛び出すことは、少し不安なことかもしれませんが、机上の勉強では味わえない体験がそこには待っていました。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマースクール／語学セミナー)

氏名	B さん		
所属	_____ 文 _____ 学部・大学院 _____ 総合人間 _____ 学科・専攻		
留学先機関名	南台科技大学（国名： 台湾 ）		
参加プログラム 区分	☒ 協定校サマープログラム ☐ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	H30 年 8 月 12 日－ H30 年 8 月 25 日	留学開始 時学年	_____ 4 _____ 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☒ 奨学金受給無し ☐ JASSO 海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 _____ 期】 ☐ その他（ _____ ）		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☐ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☒ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 (語)		
勉強方法	中国語の教材を借り、軽く読みました。		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	☐ プログラム費用 円 ☐ 宿泊費用(寮／ホームステイ等) 円 ☐ ビザ申請 円 ☒ 渡航費(☐ 片道 ☒ 往復) 35,000 円 ☒ 海外旅行保険料 5,000 円 ☒ 食費 15,000 円 ☐ その他 () 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	タイガーエア、パニラエ ア	手配	各航空会社のホームページ ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	飛行機	到着 時刻	19 : 00 【※移動時間(約2時間)】
大学(寮)への 移動手段	☒ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関(☐ バス ☐ 電車) ☐ その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	前泊しました。高雄空港と高雄市内には地下鉄があり、アクセスしやすかったです。		
宿泊先	☒ 寮 ☐ ホームステイ その他()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☐ 一人部屋 ☐ 二人部屋 ☒ その他(三人部屋)	ルーム メイト	☒ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 ☐ その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	・渡航前に南台科技大から日本語で案内が来ます。 天気が変わりやすいので、折り畳み傘は必須です。また、雨に濡れることを前提として、履いていく靴を選んだほうがいいと思います。(サンダル・クロックスが楽で便利です。) トイレットペーパー備え付けのトイレは少なかったです。現地でも購入できますが、多めにティッシュペーパーを持っていくとよいと思います。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	かなり充実した2週間でした。毎日朝9時から夕方5時までしっかり予定があります。私は中国語の授業を初級クラスで受けました。先生は初修者向けの授業に慣れていらっしゃるようで、楽しく台湾華語が学べました。日常生活に即した会話表現や単語を知ることができます。発音が難しい中国語を先生の発音を直接聞きながら勉強でき、効果的だと感じました。そのほか、文化体験の授業としてパイナップルケーキを作ったり、面の彩色をしたり、みんなで遠出したり…と盛り沢山の内容です。 私はホームビジットを希望しました。担当の高校生の女の子とその友人と一緒に一日台南市内を観光しました。台南の観光地を網羅できた上、現地の駄菓子や最近学校で流行ってる遊び、イマドキな言葉を教えてもらったりと楽しい思い出ばかりです。2週間という短期間でしたが、旅行で訪れるだけでは体験できない台湾を知れる有意義なプログラムです。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	・日本語を話せる先生・スタッフがいらっしゃる上、プログラムの参加者も日本人が多かったです。チューターの学生もかなり親切です。初めて海外に行く、という学生さんでも不安なく生活できると思います。 ・1日が午前3時間・午後3時間と別れていて、中国語の勉強や文化体験の藍染め・陶芸などがありました。中国語のクラスは2つあり、申込時に記入する中国語の学習歴で分かれているようでした。少しでも中国語に触れたことのある人は上級クラスのようなようでした。 ・昼休みが2時間あります。学食は自分の好きなものを好きな量取って食べることができます。その後は自由に過ごすことができるので近くのスーパーやコンビニ、タピオカジュース屋さんに行ったり、部屋で仮眠したりできます。 ・部屋にはティッシュペーパー、トイレトペーパー、ドライヤー、シャンプー、ボディソープが用意されていました。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学IDの設定等）	大学に到着した当日に、入寮の手続きとチューターさんとの顔合わせがありました。入寮の手続きでは、部屋や備品の説明があり、カードキーが配布されました。チューターさんとの顔合わせをした後は自由行動で、そのままチューターさんたちと一緒に近くのご飯屋さんに行く人が多かったです。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日はありませんでした。（オプションのホームビジットを付けない場合は、一日休みができます。）2週間のプログラムの中に台南、嘉義、台中訪問が組み込まれているので、その時間に遊ぶ！という感じでした。毎日夕方5時までスケジュールがあるので、平日の昼間にゆっくり台湾観光をしたいという方や台北などの他の都市を訪れたいという方はプログラムの前後に個人的に時間を作ることをお勧めします。 しかし、大学近く・台南駅近くは夜まで空いているお店も多いので十分楽しめます。（電車が終わってしまっても、タクシーで帰ることができます。寮の門限は24時となっています。）

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

- ・語学（中国語0→挨拶・自己紹介・数字など基本的な言葉が分かる状態）

中国語習い始めの時期に、発音を正してくれる先生や友人がいた事は大きくプラスになったと思います。また、台湾華語は繁体字を用いているため、簡体字よりも日本の漢字に近く、読みやすく身近に感じました。参加する前までは漠然と「中国語」を学びたいと考えていましたが、参加したことで「台湾華語を学ぶ」と決めることができました。個人的に、毎日の授業でかなり多くのことを学ぶので、すべて復習するのは無理だと思います。なので、初心者であればあるほど、大事そうな言葉を（取捨選択して）優先的に覚え、使い、確実なものにする、という流れに重きをおいたほうがよいと思います。ある程度基礎のできた人なら、新たな言葉をどんどん会話で試していける楽しさがあると思います！私は、日本人の参加者が多いので、意識していないと日本人ばかりと喋ってしまう気がしたので「せっかく台湾にいるんだし台湾の友人もできたんだから、中国語を積極的に話していくぞ！」という気持ちを忘れないようにしていました。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

- ・チューターがついてくれます！

日本語学科の学生さんがチューターになってくれます。私のチューターの女の子は本当に親切で、ご飯に連れて行ってくれたり、一緒に遊んでくれました。帰国後も SNS で連絡を取っています。（LINE、instagram を利用している学生が多い気がします。）

- ・精神を張り詰めない

慣れない海外での生活は思っている以上に疲れるものかもしれません。疲れて不満がちになってしまうと勿体ないです。ここは日本ではない、日本の常識が常識ではない、と心において、敏感になりすぎないことをお勧めします。例えば、天気に関して、朝すごく天気がよかったのに午後は土砂降り…、またその逆も頻繁にあります。天気が変わりやすいのは台湾の気候の特徴でもある、と割り切りましょう。気候に怒ってもしようがないので。そのほか、四人部屋だとなかなか一人の時のようにはゆっくりできない可能性があります。自分で工夫してみてください。

留学を通しての感想

私の印象に残っていることは、台湾がかつて日本だった時代があるという事実を感じたことです。このプログラムには台湾の文化体験の授業はありますが、歴史の授業はありませんでした。また、日本が台湾を統治していた時代について、私も決して詳しいわけでもありません。しかし、日本統治時代のデパートがあり、従軍慰安婦の責任を問いかける展示もあり、日本語を話す老人がいる台南で過ごすなかで、日本と台湾の歴史を深く知りたい、また同時に学んでおくべきだったと感じました。特に、戦時中に台南も空襲の被害を受けていた事には非常に驚きました。日本での出来事しか考えたことがなかった私にとっては意外であり、“日本統治下”とはどういうことだったのかを考えるきっかけになりました。そして、その事実に対して自分がどういう反応をすればよいのか正直わからないとも感じました。今日、台湾は親日であるというイメージを私は持っています。実際に台南に滞在してみて、何も嫌な思いをすることがなかったし、台湾に日本のモノ（コンビニ、本、食品、お菓子、文具など）がたくさんありました。日本から何も持ってこなくても、台湾であれば日本と同じモノに囲まれて生活できるだろうな、と思うレベルです。また、人々も日本や日本文化に対し好意的だなあと感じることも多くありました。現代のこのような状況を見て喜ぶだけではなく、歴史を振り返りながら、台湾と日本の関係について考えてみるべきだと強く感じました。